

D e s i g n

～ 距離を保ちましょう～



発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

地域包括ケア病棟広報誌D e s i g n号外57号です。嚥下機能評価入院のお知らせなどを掲載しています。（地域医療連携室 室長 南出 弦）

年末年始の受け入れについて

～ 現在、数名の方にご予約を頂いています～

当院地域包括ケア病棟“彩り”では、在宅医療が一時的に途切れる長期休暇（年末年始・ゴールデンウィーク・夏期休暇など）も、積極的に受け入れをさせて頂いています。随時お問い合わせ下さい。

0774-73-1818（担当：中野・中嶋・松田）

嚥下機能評価入院のご案内

～ 食べる楽しみを続けるために～



高齢社会を背景として、**誤嚥性肺炎**で入院される患者さんが増加しています。嚥下機能（飲み込む力）は、加齢と共にゆっくり低下していくことが多いため、ご本人もご家族も機能の低下に気づいておられないこともあります。当院では、医師とリハビリテーション科言語聴覚士（ST）が中心となり、「**嚥下機能評価入院**」として、飲み込みに不安を感じている方を地域包括ケア病棟“彩り”で受け入れています。医師による嚥下機能検査と、その検査結果に基づいたSTによる嚥下訓練を実施し、個々の嚥下機能に合わせた食事形態や食事姿勢、食事介助方法などを、ご家族や施設職員の方々にお伝えさせて頂いています。また、とろみの付け方やゼリーの作り方などは、退院前に管理栄養士よりお伝えさせて頂いています。

「最近むせやすくなった」「むせないけど微熱が続く」「食事摂取量が減った」などがあれば、嚥下機能が低下しているサインかもしれません。嚥下に関して気になることがございましたらお気軽に地域医療連携室までご相談下さい。

*

「嚥下機能評価入院」の詳細は、以下のD e s i g nのバックナンバーをご覧下さい。

↓

3号・13号・14号・23号・29号・号外11号・号外12号・号外34号・号外36号



「薬剤部からのお知らせ」「栄養管理室からのお知らせ」をホームページに掲載しました。

～ お役に立つ情報を掲載しています ～



「薬剤部からのお知らせ」「栄養管理室からのお知らせ」をホームページに掲載しました。トップページの“病院からのお知らせ (NEWS)”から閲覧できます。

地域の皆さんが支援される際、**お役に立つ情報**です。是非ご覧下さい。よろしくお願いいたします。なお、院内のモニターでも放映しています。

地域医療連携室より

～ 距離を保ちながらも、内容は“密”でした ～



認知症疾患医療センターの業務の一環で、木津川市社会福祉協議会が実施しておられる認知症カフェ（こすもすカフェ）に協力医療機関として携わっていますが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から今年2月を最後に中止となっていました。そして、10月18日（日）、8ヶ月振りの再開となり、岩本副院長と2名で参加しました。今回は過去に参加された方のみに案内を送付されたため、参加人数は少なく、参加者同士の距離を保ちながらの開催となりました。

カフェの冒頭、岩本副院長から10分程度、新型コロナウイルスの現状やこれからの認知症の治療についての話があり、スタッフも含め参加された皆さんが興味深く話を聴きました。そして、いつもであれば、何か催し物があって、その後にカフェタイムとして認知症に関する相談を受けたり、参加者同士が会話を楽しむのですが、今回は事前に予定の催し物はなく、岩本副院長の



お話の後はすぐにカフェタイムとなりました。カフェタイムでの岩本副院長の認知症に関する助言は大変的確で、距離を保ちながらでしたが、内容は“密”でした。こすもすカフェ終了後の振り返りでも、少人数の良さが出た今回のカフェだったとの感想がありました。また、「次回は、一部をオンラインで実施できないか」などの意見も出て、新しい形のこすもすカフェの模索も始まりそうです。



左の絵は、「アマビエ」という日本の妖怪だそうです。こすもすカフェの委員長の片岡さんと木津川市社会福祉協議会の早川さんから頂戴しました。私は詳しくは知らなかったのですが、「アマビエ」は疫病退散にご利益があるとのことで、現在のコロナ禍の状況で様々なグッズも販売されているそうです。新型コロナウイルスの終息を願うと共に、片岡さんと早川さんのお気持ちに感謝し、地域医療連携室の壁に貼らせて頂いています。

(地域医療連携室 室長 南出 弦)